

市議会だより



はまだ

Vol.29

平成25年(2013年)5月1日発行

3月28日 浜田女性ネットワーク
と浜田市議会議員との意見交換会
を開催

3月定例会 めだま 記事

観光協会助成事業を執行保留

原井小学校6年生が本会議を傍聴

議会報告会を開催します

4P

8P

16P

平成25年3月浜田市議会定例会が2月21日に召集され、3月14日までの22日間の会期で開かれました。

提出された議案は60件、請願2件で、各委員会等での審査の様子は2ページから5ページに掲載しています。

今定例会では、平成25年度当初予算において、「浜田市観光協会助成金」について質疑が集中しました。詳細につきましては、4ページに記載しています。

また、会派代表質問に6人、個人一般質問には13人が立ちました。会派代表質問については、9ページ、一般質問については、12ページより掲載しています。



湯屋温泉飲料営業 基本料金値下げに質疑集中

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会は付託議案17件、請願1件について審査を行いました。

議案のうち「浜田市温泉事業条例の一部を改正する条例について」では

多くの質疑が出されました。委員から湯屋温泉飲料営業供給の使用量1㎡当りの基本料金を2100円から1260円に改正する根拠について質問がありました。それに対し執行部からは全国では民間会社が自社で源泉を掘って営業しているところがほとんどで、市が公営源泉を持ち飲料として供給しているところは見当たらないため、5年間旧金城町時代に1260円に減免していた徴収金額を参考にし、今回提案したとの答弁がありました。

また、他の委員から温泉審議会へ諮問した理由について質問がありました。それに対し執行部からは使用者から使用料が高いということで値下げ要望が出されたものであるとの答弁がありました。また、他の委員から



▲6/10から休業予定のあさひ荘

料金改定をすれば収入減ということになるので困るのではないかと、どのような試算をして改定に踏み切ったのかとの質疑がありました。

それに対し執行部から改正後の収入減の不安については、旧金城町時代から新浜田市にかけ4年間の減免期間の状況をみると、減免により使用量が増加しているため、飲料営業供給からの収入額は改正前とほぼ同額の収入が見込めるとの答弁がありました。

付託議案17件については、それぞれ採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

また、請願の「過労死防止基本法制定に関する意見書の提出について」

は委員から浜田市内の多くの中小企業や農業従事者は無理をしないと生き残れない現実がある。どのように対応すればいいのかとの問いかけがありました。

それに対し紹介議員からは、亡くなった方、自死された方は実態がつかめてなく、現実を公表することからメスを入れなければならぬ。また、法を制定することにより、現状を改善していかねければ、安心して住める長寿国島根にならないとの説明がありました。採決の結果、全会一致で採択すべきものと決しました。



特許権を放棄する和紙を用いた装飾用シート

利用し易い図書館に

－ 総務文教委員会 －

総務文教委員会に付託された3件の案件について審査を行いました。「浜田市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について」ですが、これは、国において新型インフルエンザ等緊急事態宣言がされたときは、市においてその対策本部を設置しなければならぬとされたことに伴い、必要な事項を定めるため条例制定するものです。国から緊急対策宣言が出されない場合でも、市として対策本部を設置する等、独自の設置基準は設けないのかという質疑がありました。いろいろな状況が想定されるので、具体的な

体制や独自の設置基準については、今後策定される国や県の具体的な行動計画にそって詳細事項について検討していくとの答弁がありました。

次に「浜田市立図書館条例の制定について」ですが、中央図書館及び三隅図書館の移転新築に伴い「浜田市立図書館条例」の全部を改正し、新たに条例を制定するものです。中央図書館駐車場の使用料や減免規定、納付方法について質疑がありました。減免規定については別に条例の施行規則に規定し、図書館の利用者は図書館力ウンター（駐車券のリーダー）に通せば無料とし、利用者以外の者には時間に応じた料金を料金収受機で徴収する旨、答弁がありました。また、多目的ホール使用料金の減免措置について質疑があり、同様に条例の施行規則に規定し、多目的ホールで図書館の資料を利用した場合や関連した行事開催の場合は無料とする旨の答

弁がありました。その他にも、多くの方が読書や勉強等で長い時間を過ごす場合もあると思うが館内で飲食ができるスペースはあるのかという質疑があり、館内の飲食は基本的に禁止ですが、コミュニティシヨンスペースに飲料用の自動販売機を設置するため、そこで飲み物の利用はできる。また、ペットボトルや水筒を持参し自分の学習スペースの範囲で飲むことは許可するとの答弁がありました。

それぞれ審査を行い、全会一致で可決すべきものと決しました。



▲浜田市立中央図書館完成予想図

医療費助成対象を 6年生までに拡大

－ 福祉環境委員会 －

福祉環境委員会に付託された、議案4件、請願1件について審査を行いました。

「浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について」は、医療費助成対象児童を小学校3年生から小学校6年生まで拡大とするものです。次に、「浜田市公共下水道条例の一部を改正する条例について」は、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」において「下水道法」が改正



▲国府浄化センター

され、公共下水道の構造及び維持管理の基準について、条例で定めることとされました。本市もこれまでと同様の構造及び維持管理が必要であることから所要の改正を行うものですが、委員からは排水施設、処理施設の基準、耐用年数や構造について質疑がありました。

執行部からは排水処理場の耐用年数は50年、管路については80年という答弁がありました。また、規則で定める排水管の断面積は適切な基準となっているということですが、蓋を設けることとしていますが、以前、盗難など問題があった蓋の構造も堅固なもので心配はないとのことでした。

また、「浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について」は、特定世帯に係る保険負担を緩和する目的で、国民健康保険料の軽減特例措置の延長等が3年間行われたことに伴い、保険料率の算定基準について所要の改正を行うものです。それぞれ採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。



執行保留！ 観光協会助成事業

— 予算審査委員会 —

予算審査委員会に審査を付託された予算議案27件について審査を行いました。

平成25年度浜田市一般会計予算の特に質疑が集中した事業で、総務文教委員会関係では、「広報事業」について、事業の内容や事業が載っていない予算の内訳についての質疑があり、移動新聞社では中央図書館や三隅図書館の開館、58年の災害から30年目の記事などを



▲委員会での質疑の様子

特集で組むこと、また予算内訳については、ホームページの委託料や県の広報誌「フォトしまね」の配布費用などの答弁がありました。「新交通システム運営事業」では、小規模高齢化の調査において、買い物や移動に不自由を感じる、という結果が出たことに対する対応や、市独自の積算根拠などの質疑がありました。

福祉環境委員会関係では、「障害者雇用促進費」について、法定雇用率と支援員の資格要件などについて、「緊急通報体制整備事業」では、負担軽減策に踏み出した経緯と理由などの質疑がありました。産業建設委員会関係では、「旭温泉再整備事業」

と「美又地域再開発事業」について、それぞれの取り組みだけではなく、市全体の観光戦略をたてて取り組むべきではないかとの質疑がありました。

「観光協会助成事業」については、平成23年度分の浜田市観光協会の事業、決算を監査した市の監査委員からの指摘により、観光協会の会計処理や組織のマネジメントなどに多くの問題をはらんでおり、決算も過去にさかのぼって信憑性が疑われることが判明したため、予算質疑ではさまざまな質問・意見が出されました。これに対し執行部からは改善に向けての取組等について答弁されましたが、具体的な内容や期限も明確にはされなかったため、このままでは予算の審査を行うに足る状況にはなく、今議会に提出されている平成25年度予算は認められないとの強い意見がありました。これに対し、副市長から、「予算執行に当たっては、当面の必要経費、春のイベント事業の経費と4月から

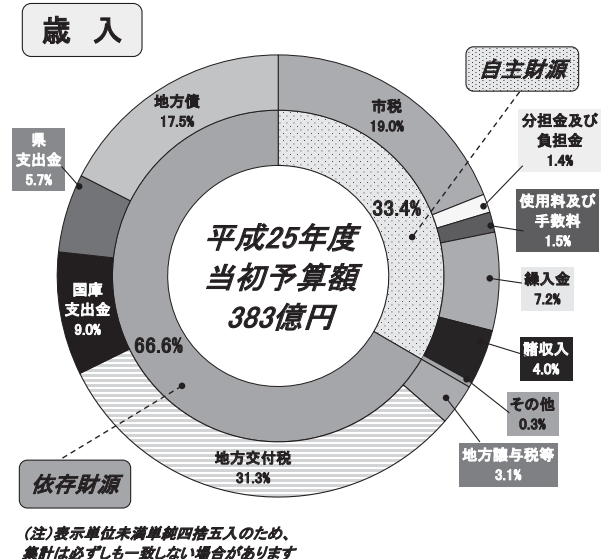
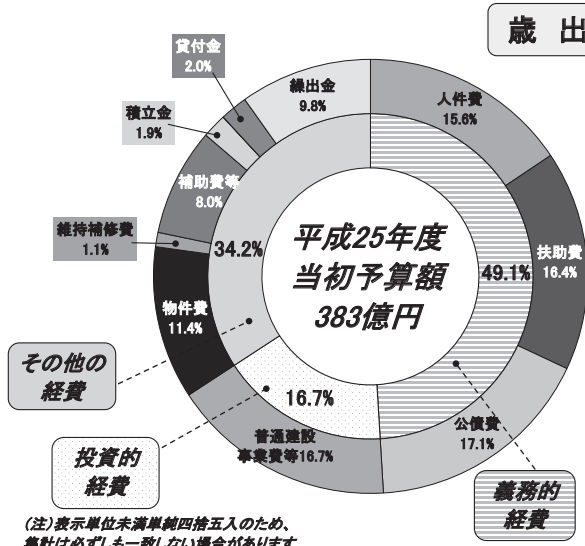


▲監査委員より厳しい指摘のあった浜田市観光協会

6月までの管理経費をこの3ヶ月間で執行させてもらい、残額については6月議会で説明をした後で執行させていただくというところで、この残額部分については執行を保留する」との答弁がありました。この副市長答弁により、予算審査委員会としては、6月議会において、執行部から浜田市観光協会の問題について、調査結果や正確な決算書の提示及び今後の運営について明確な報告がなされること並びに最低限の予算執行及び残額の予算執行保留が担保されたものと判断しました。

採決の結果、付託された予算議案27件はすべて原案の通り可決すべきものと決しました。

平成25年度一般会計の概要





平成25年3月定例会で

可決された主な事業

旭の4校が統合！旭統合小学校新築事業 【新規事業】

ー旭自治区小学校を統合！新たな校舎を建設！安全安心な教育環境の整備を図るー

- 校舎 鉄筋コンクリート造2階建 4,300㎡
- 屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 1,100㎡
- 校庭 11,600㎡ 100m コース・150mトラック
- 駐車場 約3,000㎡
- 事業費 1億5,301万円（一般財源261万円）



浜田医療センターヘリポート整備支援事業 【新規事業】

ードクターヘリ等離着陸場整備に補助！救急医療と救急救命の充実を図るー

- ヘリポートの概要
 - ・着陸帯の面積と高さ：21m × 21m、約10～15m
 - ・付帯設備：夜間離着陸照明・風向風速計・監視カメラ
- 総事業費 2億8,623万円（うち市負担分3,500万円）



保育士配備の拡充！保育所入所受入推進事業 【新規事業】

ー職場復帰保護者の入所待ち児童受入対策！ー

- 事業内容
 - ①入所受入保育士配置助成（1,396万8千円）
 - ②主任保育士事務加算助成（103万6千円）
- 事業費 1,500万4千円（全額市負担）



耕作放棄地化を防止！農地保全農地流動化緊急対策事業

ー白紙委任による5年以上の利用権設定を新たに行う所有者と貸借人に補助を行うー

- 補助対象者及び補助率
 - 農地の所有者 15,000円／10a
 - 農地の貸借人 5,000円／10a 3年間
- 事業費 500万円（全額市負担）



請願・陳情の審査経過および結果 ー平成25年3月定例会審査分ー

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した委員会 および結果・経過等
請願	個人保証の原則廃止を求める意見書の提出について	島根県弁護士会 会長 水野 彰子 様	（福祉環境委員会） 採 択
請願	過労死防止基本法制定に関する意見書の提出について	過労死防止基本法制定実行委員会 関西事務所 弁護士 岩城 穰 様	（産業建設委員会） 採 択

可決された意見書を関係の機関へ提出

個人保証は、保証人の経済生活に重大な影響を及ぼす可能性があることから、古くから警鐘を鳴らされ続けている契約類型です。そうであるにもかかわらず、主債務者との情誼（じょうぎ）から個人が保証人となることが絶えることはなく、近時破産など多数の被害を生じさせています。

そして、保証人の責任を軽減させるために裁判実務でも幾多の努力が重ねられていますが、なお不十分であるといわざるを得ません。

個人保証被害の抜本的な救済のためには、情誼（じょうぎ）性に基礎を置く前近代的な個人保証制度を原則として廃止する必要があり、また、個人保証が例外として許容される場合においても、その被害の拡大を防止するための制度を設ける必要があります。

そこで、「個人保証の原則廃止を求める意見書」を全会一致で可決し、関係機関へ提出しました。

また「過労死防止基本法制定に関する意見書」を全会一致で可決し、関係機関へ提出しました。



※情誼とは：人とつきあう上での人情や誠意。

主な議案等の賛否の公開について

詳細については、議会HPをご覧ください。

[illegible]

知ってナッ得！

「質問」と「質疑」はどう違うの？

議会での議員の発言には、質問、質疑、討論などがありますが、今回の「知ってナッ得！」では、混同しやすい「質問」と「質疑」について、その違いをお知らせします。

まず、質問とは、議員が、市政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況や将来の方針などについて所信を質し、報告や説明を求め又は疑問を質すものです。浜田市議会では主なものとして、3月定例会だけで行う代表質問（施政方針や教育方針に対して行われるもの）と、各定例会で行う一般質問があり、毎回15名を超える議員が質問に立っています。

これに対し、質疑とは、議題となっている事件について、議員が賛否などの態度決定をすることが可能になるよう、不明確な点について提出者の説明や意見を質すものです。したがって、質疑に当たっては、賛否についての自己の意見を述べることはできないこととされています。代表的な例として議案に対する質疑があります。

つまり、質問は「市政全般について何でも聞くことができるもの」、質疑は「現に議題となっている事件についてしか聞くことができないもの」と考えれば分かりやすいと思います。

平成25年3月定例会での

○議長は全ての議案に対し賛否を表明しません（可否同数の場合を除く）

○委員会の委員長は、所属委員会付託の議案について所属委員会では賛否を表明しません（可否同数の場合を除く）

○賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」と表記しています

○本会議、委員会で賛否不要の場合は「斜線」、欠席の場合は「欠」、棄権の場合は「棄」、議長は「議」、各委員会の委員長は、「長」と記載しています

議案番号	議 案 名	付託委員会	笹田 卓		布施賢司		岡本正友		芦谷英夫		佐々木豊治		道下文男	
			総務文教	本会議	福祉環境	本会議	総務文教	本会議	福祉環境	本会議	総務文教	本会議	総務文教	本会議
議案第4号	浜田市立図書館条例の制定について	総務文教委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	浜田市立図書館協議会条例の一部を改正する条例について	委員会付託省略	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第6号	浜田市三隅カルチャーホール条例を廃止する条例について	総務文教委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	福祉環境委員会	／	／	○	○	／	／	○	○	／	／	○	○
議案第9号	浜田市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について	福祉環境委員会	／	／	○	○	／	／	○	○	／	／	○	○
議案第10号	浜田市環境審議会条例の一部を改正する条例について	委員会付託省略	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第11号	浜田市緑の里地域振興施設条例の一部を改正する条例について	産業建設委員会	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第12号	浜田市旭温泉公園条例の一部を改正する条例について	産業建設委員会	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第13号	浜田市温泉事業条例の一部を改正する条例について	産業建設委員会	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第24号	浜田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について	委員会付託省略	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第25号	権利の放棄について（特許権）	産業建設委員会	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第26号	財産の取得について（旭インター団地）	産業建設委員会	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第27号	公有水面の埋立てについて（古湊漁港区域内）	産業建設委員会	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第28号	市道路線の廃止について（国府145号線）	産業建設委員会	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
議案第29号	市道路線の認定について（国府145号線外）	産業建設委員会	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
	平成24年度浜田市一般・特別会計補正予算（13件）	予算審査委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度浜田市一般・特別会計予算（14件）	予算審査委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第1号	浜田市副市長の選任について	委員会付託省略	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
同意第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	委員会付託省略	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
同意第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	委員会付託省略	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
請願第24号	過労死防止基本法制定に関する意見書の提出について	産業建設委員会	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
請願第25号	個人保証の原則廃止を求める意見書の提出について	福祉環境委員会	／	／	○	○	／	／	○	○	／	／	○	○
発議第2号	個人保証の原則廃止を求める意見書について	委員会付託省略	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
発議第3号	過労死防止基本法制定に関する意見書について	委員会付託省略	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／

原井小学校6年生が 本会議を傍聴



2月26日(火)に原井小学校6年生が本議会を傍聴しました。
児童の感想文のなかから一部を下記のとおり、ご紹介します。

本会議を傍聴した児童たちの感想文から（一部抜粋）

・社会科の時間にこの市議会について勉強しました。実際に今日浜田市議会を見学してたくさんのことを学ぶことができました。市議会について勉強していくうちに今までは私たちの生活とはあまり関係がないと思っていたけれど実はものすごく関係があるということがわかりました。議場の中はすごくしずかで張りつめた空気があって実際にいくとこんな感じなんだなあと思いました。これからの浜田市について片側の人質問してそれにもう片側に座っている人が答えるという形ですごくスムーズに話し合いをしているのが一番印象に残りました。これからの私たちの生活に大きく関係する市議会を見学することができて良かったです。

・私は、今日初めて市議会を見学させて頂きました。一番最初に本会議場に入ったしゅん間すごく真剣さ本気さが伝わってきました。今ここにいる人たちは浜田市をよくするために大事な話をしているんだなあとその時思いました。私はこれからの浜田市についてはこの人たちが決めるのに不安はないと、この見学を通して思いました。



・初めて市議会を見学して思ったことは「思ったより議場は広かった」事です。質問されたらすぐに答えていたので行政側の人はすごいと思いました。議員さん達と行政側の方たちが熱心に討論されていたのですごいと思いました。これからも浜田市をよくするためにがんばってください。

・今日の市議会を見学して、みなさんが話し合っておられて本当に私たちの事や暮らしの事を一生懸命考えてくださっているのだなと思いました。議場におられる方々は自分の意見や自分の担当する事を上手にまとめて言っておられてすごいなと思いました。今日は市議会を見学できて良かったです。

・市民のなかから代表者を選んで話し合っている所を見て、これからの浜田市を良くしていく話し合いだったので、とてもいい会議だと思いました。運営側の人とてもしんげんに話を進めていたのですごいと思いました。これからの浜田を住みやすい町にしたいです。



・見学して市議会のたくさんの事がわかりました。あの場で話されていた事はすべてこの浜田市民のためというのがわかりました。裁判とはまたちがう感じでした。議員さんは一人で質問したりしていてすごいなと思いました。質問するときにタイムがあることにはびっくりしました。僕達がこれから住んでいく浜田市は、どう変わっていくのか楽しみです。議会はすごくきんちょうして大変だなと思いました。

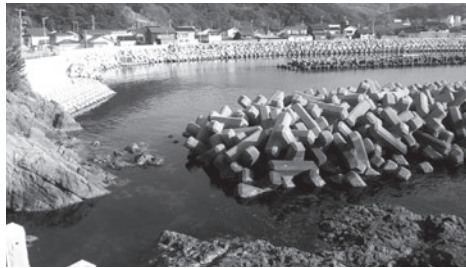
会派代表質問



各会派の代表が市政方針と教育方針を問う

質問 防災ハザードマップに災害時避難所が指定されているが、経路の表示や整備が遅れている。今後の対応は。

答弁 361カ所の避難所には土砂災害危険区域や浸水・耐震性・道が狭いなど多くの課題があり、改めて現況調査をする。



▲高潮に備えて整備が進む松原湾

質問 まちづくり総合交付金事業今後の見通しは。

答弁 国は国家公務員に合わせ地方公務員の給与

質問 平成23年から平成27年度までの5年間の事業で実施。来年から一部を見直し地域住民が活用しやすい様に検討する。

答弁 市民が自由に活動できる市民活動センターの開設は。

質問 市民が主体となった「協働のまちづくり」には活動団体への支援は不可欠。既存施設の有効活用も含め検討する。

答弁 島根県警の整備構想では、杵束駐在所の廃止・三隅駐在所の統合化計画が進められている。市長の考えを問う。

答弁 知事・警察本部長に未解決事件の存在や中山間地域の実情を要望してきた。廃止後の補完措置等を協議していく。

質問 国は国家公務員に合わせ地方公務員の給与

新年度方針に対し 各分野別の施策を質す



創新会

牛尾 博美

質問 7・8%カットを求めているが浜田市職員の給与の減額について問う。

答弁 県下に先駆けて給与改革に取り組んできた。これまでの状況を踏まえ県・県内他市、類似団体等状況を見ながら対応を検討する。

質問 学校での愛国心教育の考え方について問う。

答弁 日本の伝統と文化に親しみ、国・郷土を愛する学習指導要領で対応。

質問 激変緩和を考慮した水道料設定の考えは。

答弁 水需要の減少をも考慮し段階的に水道料を統一する。

質問 火葬場計画案が出されたが現状を継続した後、新火葬場整備を問う。

答弁 三隅火葬場を拠点施設として整備。他の3火葬場は大規模修繕まで存続。三隅火葬場の更新時に新たな火葬場の整備を検討する。

質問 浜田市の再生可能エネルギー事業の展開は。

答弁 中央・三隅各図書館に太陽光発電を設置。瀬戸ヶ島用地にメガソーラー設置を検討。

質問 高校生の「地食甲子園ーN浜田」が開催された。今後の展開は。

答弁 浜田の知名度アップと浜田産品のブランド力強化につなげて行く。

質問 田町の葬祭会館建設計画は君市踏切・狹隘道路・交通混雑・救急車の問題がある。駅北地区活性化と都市計画構想は。

答弁 駅北は医療センターを核に周辺整備。地元住民・浜田医療センターからも不安の声がある。施主に検討をお願いする。



▲山中光茂松阪市長と

質問 三重県松阪市との経済・文化交流の推進について問う。

答弁 今後も観光や地域ブランド連携等市民レベルの交流を続けたい。

その他の質問

○モニタリングによる事業のスクラップ&ビルドについて

○学校のいじめに対する考え方について

○学校の体罰に対する考え方について

○浜田市の高齢者の重点施策について

○下水道事業について前倒ししての実施は

○生活保護について

○水産業振興について

○浜田港振興について（臨港道路福井4号線整備について）（浜田港の利用促進について）

○農林業振興について

○高速道路整備について



自治区制度の検証と 諸課題への施策を問う



進風クラブ

大谷 弘幸

質問 自治区制度の再検証の方針とスケジュールについて問う。

答弁 再検証の主旨は、平成28年度以降の制度のあり方を検討するための基礎資料との考えであり、本年秋頃を目標に「再検証のまとめ」を公表する。

質問 「公共施設白書」や「施設再配置計画」の策定計画と実行の考え方について問う。

答弁 公共施設の適正化推進に向け、第三者機関に委託して25年度から2力年で作成し、これを基に市の方針と再配置計画を決定する。実行に当たっては計画に沿って進捗管理を行う。

質問 国の子ども子育て新制度についての認識と市の方針、放課後児童クラブ対象学年の拡大について問う。

いての考え方を問う。

答弁 新制度について、現時点ではその根幹が明確でない認識しており、市としては、27年度予定の本格実施に向けて事業計画策定に着手するとともに子ども子育て会議を設置する。放課後児童クラブの対象児童は、法施行後は小学校6年生まで拡充される。

質問 生活周辺環境である水環境の保全と改善及び大気汚染について問う。



▲子育て支援センターでの活動状況



▲美川浄水場全景

答弁 水質汚濁の改善は思うように進まない状況にあり、ハード面では下水道整備が必要との考えであり、ソフト面では新年度から河川の水質改善の実証実験に取組む。PM2.5を含む大気汚染による健康への影響については、市民への正しい情報提供が必要と考える。

質問 平成28年度末実施予定の上水道と簡易水道の統合に向けての事業推進の考え方を問う。

答弁 集中監視システムの導入や簡易水道の資産台帳作成等を終えており、25年度には引き続きの施設整備と水道料金改定案を審議会に諮問、26年度に答申を得る予定。

質問 大きな社会問題であるいじめの撲滅に向けた取組と体罰についての認識について問う。

認識について問う。

答弁 いじめ問題への対応は、25年度にすべての中学校に配置されるスクールカウンセラーと新設する児童生徒支援室が連携して対策にあたるとともに、撲滅に向けては児童生徒推進室を中心に具体的アクションプランの実現を図る。体罰については、いかなる場合であっても行ってはならないとの方針を示している。

質問 学校給食統合問題が暗礁に乗り上げた状態で現在に至っているが、今後の方針について問う。

答弁 25年度から実施の「公共施設適正化推進事業」の結果を踏まえて更に検討することとし、現時点での学校統合計画が終了の27年度以降になる」と想定している。

質問 25年度から実施の「公共施設適正化推進事業」の結果を踏まえて更に検討することとし、現時点での学校統合計画が終了の27年度以降になる」と想定している。



▲給食センターでの調理状況

地域課題解決への 施策を質す



未来

岡本 正友

質問 金融円滑化法のもと年度末に期限を迎える中小企業への支援策は。

答弁 4月から新たな金融施策として、小規模事業者経営改善資金の助成事業で支援をする。

質問 障がい者の自立に向けた職場環境の施設整備への支援について問う。

答弁 国・県の助成のほか、障がい者を雇用する企業や福祉施設に、市も一定条件の下で支援する。

質問 保育所における発達障がい児の増加の状況への支援策について問う。

答弁 障がい児保育への市独自の助成額の割増など手厚い支援をしているが、年々増加の状況もあり新たな支援策を検討する。

質問 災害時に活動する消防団員の服装において、足元を守る安全靴着用の

必要性について問う。

答弁 東日本の大震災での教訓から安全強化のための資機材、装備品を見直している。早期に、安全靴着用の充実を図る。



▲資機材・装備品の充実を

質問 伝統や風習など地域文化をを守り伝承することや後継者の育成は重要と思うが所見を聞く。

答弁 活動を行う人づくりは重要と考えている。活動支援と発展に資する公民館活動等を通して課題解決例を市全体に広げるなどその育成を図る。

市民生活に安全と安心を 働く人に元気を



市民クラブ
荻谷 英夫

質問 地域住民自治の推進、地域での連携づくり、支援体制について問う。

答弁 まちづくり総合交付金は一部を見直し、まちづくり推進委員会は各団体との連携など地域活動を支援し、また新たに地域おこし協力隊と集落支援員の2名を配置し地域支援を行う。

質問 働く者の正規従業員化、給与アップが必要である。雇用拡大が期待される医療、子育て、介護職場などの状況を問う。

答弁 優良企業の誘致、労働環境の向上、キャリアアップ支援などを進めたい。医療、子育て、介護などで従業者が増加し、待遇面では改善しているもののまだ十分ではない。

質問 浜田港活性化へ

の期待が高まっており、ポートセールスなど具体的な戦略的な施策を問う。

答弁 4月から港湾振興センターの開設で組織体制が強化され、さらなる利用促進、貿易拡大に取り組みたい。

質問 米軍機低空飛行で民家窓ガラスが割れ、保育にも支障がある。低空飛行訓練即時中止を申し入れるべきである。

答弁 4市町による対策協議会で中止要請し、あさひ子ども園保育室増築には、国に防音対策の予算措置を要望したい。



▲雇用の拡大が期待される福祉施設

質問 高齢化率30%を超えた本市にあって、介護保険の要介護認定を受けていない元気な高齢者がたくさんおられる。介護予防のために保険料の約3%が充てられているがこの一環として、他市では「介護支援ボランティア制度」が始まっている。高齢者の社会貢献にもつながり、生きがいをもって活動することで介護予防効果もあるがこの取組について問う。

答弁 高齢者の社会参加促進や地域貢献が期待される一方、制度運用上の課題もある。引き続き関係機関と検討していく。

質問 浜田医療センターを中心として診療体制の充実や、がんの無料検診に取組んでいるが受診率が伸びていない。対策に

ついて問う。



▲健康福祉フェスティバルでの健康相談

について問う。

答弁 がん検診の完全無料化やPET-CT補助を継続して実施、働き盛りの世代への受診を促すため商工会議所との連携の強化を図る。

質問 近隣の商店の撤退や、運動機能の低下などから買い物に不便を感じている「買い物弱者」が増えているその対策を問う。

答弁 旭町・弥栄町・三隅町において移動販売を開始している。市内全域に拡大していくよう支援したいと考えている。

保健医療・福祉の充実で 安心のまちづくりを



公明クラブ
三浦 美穂

「市民から目線」で 14項目について質す



風
江角 敏和

質問 県は、中国から飛来するPM2.5の基準値超えを、公表すべきではなかったか。

答弁 現在、県による公表が始まった。注意喚起の基準も示される予定で、それに従い実施する。

質問 米軍機の低空飛行による騒音対策を国に求める考えはないか。

答弁 予算措置が講じられるよう要請する。

質問 「保育所入所受入促進事業」で、課題の解消へつながるか問う。

答弁 現在の兄弟別入所は解消される。新事業で課題の改善につなげたい。

質問 生活保護基準の引き下げ中止を国に働き掛ける考えはないか。

答弁 全容と影響が明らかにされるなかで検討していきたい。

質問 浜田地域の経済・雇用情勢の特性・産業の将来展望について問う。

答弁 域外マネー獲得が課題。広島に近く港・大学・食材の豊富さが特性で、そこに伸び代がある。

質問 火葬場整備計画に将来展望を明記すべきではないか。越境火葬場利用費への助成の考えは。

答弁 記載したい。助成は必要に応じ検討する。

質問 各自治区の地域振興基金は、平成33年度までに全額活用のか。

答弁 そう考えている。



▲霞む山々。PM2.5数値は市のHPで！

農林漁業の担い手を どう育てていくのか



答 各種研修制度等

により支援していく

平石 誠 議員

質問 浜田市の基幹作業でもある、農林漁業における担い手（後継者）をどう育てていくこうとしているのか問う。

答弁 農業では、農業研修制度を実施してきており成果を上げている。林業では、国・県の支援事業を活用し、3年間で5名を確保した。漁業では、浜田水産高校で、水産庁と文部科学省の指導・助言による「水産業の担い手育成事業」等を実施され、その成果として、平成24年・25年と漁業分野への就職が進んでいる。引き続き、各分野への支援を実施していく。

企業やそこで働く人の思いに触れる取組を実施している。職業選択は、最終的には児童生徒自らの判断によるが、義務教育の段階では、今後も身近な資源を活用したキャリア教育を推進していく。

質問 「浜田市担い手育成ビジョン」を策定し、担当部門を超えた取組を実施すべきではないか。

答弁 総合的なビジョンの策定は大変有効であると考えてるので、前向きに検討していく。

質問 農林漁業への理解を深めるため、キャリア教育を充実させる考えはないか。

答弁 小中学校においては、地元で頑張っている



▲若手が頑張っている新開団地

人口減少を食い止める 主要な施策は



答 出生数の増加と
雇用の確保、産業振興

山田 義喜 議員

質問 定住対策のこれまでの成果と課題は何か。

答弁 空き家バンク制度を利用したU・Iターン者は、平成22年4月から平成25年1月末まで、30世帯・69人となっている。少子化対策など、さまざまな定住対策を行なっているが、人口減少には歯止めが掛からない状態にある。

質問 島根県中山間地域活性化計画に対する市の対応はどうするの。

答弁 県と連携した事業展開が出来るよう、まずは地域の現状把握や分析を進めている。この分析結果に基づいて、重点支援地区を選定するとともに、全庁的な部局を横断した組織を設置し、今後どのような地域支援が必要か検討して行く。

質問 地元企業への支援



▲愛知県からIターンされた柿本さん一家

策はどうするの。

答弁 市独自で中小企業チャレンジ支援事業を平成23年度から実施している。助成内容は新商品開発、特許権等取得、販路開拓、中小企業組織化促進であるが、平成25年度から新たに環境整備と衛生管理推進事業を追加する予定である。

質問 企業誘致に対する支援策はどうか。

答弁 企業設備取得奨励金と雇用促進奨励金の、二つの奨励金がある。

営農組織の立上げ支援で 耕作放棄地の防止を



答 今年度から支援強化に
新規事業を投入したい

道下 文男 議員

質問 住環境の悪化対策での耕作放棄地の拡大防止、加えて雇用促進策としての集落営農組織への立上げ支援強化策について問う。

答弁 今年度から担当職員配置や、人に任せやすい農地にするための基盤整備、及び県やJAと連携を図り、地域の実情に合わせた集落営農組織、及び農業サポート経営体の育成に努める。

質問 国による公共事業費の予算増額が見込まれており、経済の停滞で疲弊している市の建設産業の復興を期待する。着実な復興となるよう、配慮施策を問う。

答弁 市において、建設産業はあらゆる面で重要な位置づけであり、復興支援や若者技術者の育成の観点からも入札、及び

下請単価には十分に注意を払う。

質問 雇用拡大も併せ、整備が極めて遅れている回復期のリハビリ医療施設の拡充について問う。

答弁 遅れは認識しているが、県の保健医療計画に基づき圏域全体での整備を図る必要がある。

その他の質問

- 自主防災組織の育成について
- 愛国心の育成について
- いじめ対策について
- 体罰問題について



▲室谷の棚田（整備され自然と調和が美しい）

市民の視点に立ち 公務員改革を推進せよ



川神 裕司 議員

答 人事考課結果の処遇
反映も必要と考えている

急げPM2.5対策と 夜間在宅介護の実現を



牛尾 昭 議員

答 貴重な提案と
受け止める

浜田市の十年後を想定し 具体的な対策を



西田 清久 議員

答 官民一体となつて
取組を進めていきたい

質問 昨年地方公務員の給与水準が国家公務員を大幅に上回った。これは国が行った東日本大震災の復興財源確保を目的にした2年間限定7・8%の給与削減を地方が実施しなかったためとし、総務省が今年7月より国と同様に7・8%の給与削減を地方に求めてきた。そこで今回の給与削減が市の総人件費にどの程度影響するか聞きたい。

答 浜田市のラスパイレス指数は105・8であり、国は100を超えた5・8を削減すればよいとのこと。金額にすると来年3月までの間の削減総額は2億円強となる。

質問 国においては平成19年法律第108号において、職員の昇任等に関して「適正」「標準職務遂行能力」を重視して、能力・



▲さらなる公務員改革を！

実績主義中心の人事評価により判断するものとされている。当市の人事評価制度も能力・実績主義を重視すべきと考えるが考え方を聞きたい。

答 昇任・昇給に関して人事考課結果は反映していない。職員のモチベーションを上げるためにも、人事考課結果の処遇反映制度導入の検討も必要と考えている。

その他の質問
○都市機能の活用と基盤整備について

質問 PM2.5対策の国、県の動向を問う。

答 国は、国民に対して2月中に注意喚起の情報提供について検討中であり、県は隠岐について松江、浜田でリアルタイムで数値公表を決定した。

質問 ケーブルを活用した公表は、浜田自治区の加入率が低いので、この際、公費投入して加入率を上げるべきでは。

答 石見ケーブルと協議し検討したい。

質問 幼・保や義務教育課程の子どもたちが越境汚染にさらされるが、マスクの配布はどうか。

答 マスクの効果について国で検討中であり、義務教育の子どもたちを守るために検討したい。

質問 昨年も聞いたが24時間訪問介護への事業者参入がなぜ無いのか問う。

答 新年度は、昨年の3倍の募集期間を予定している。

質問 期間ではなくインセンティブが必要で、赤字分の上乗せが必要では。

答 上乗せ以外に人員の確保が課題である。

質問 一中学校のニーズがあるのでモデル事業を導入してはどうか。

答 浜田市・江津市で介護事業しているのので、単独の事業は難しい。



質問 耕作放棄地は増え続け、加速度が付いて山林化している現状のなかで、農地保全プラン、色分けマップを市内全域で早急に作成すべきと考え

答 農業従事者が高齢化、減少傾向にある中、守るべき農地を集中して保全、管理できる体制をとることが必要であり、将来に向けて地域ぐるみでの取組を進める。

質問 山林化した耕作放棄地の公有林化についての現状課題を問う。

答 財産管理の取扱いや財政負担を伴うので慎重に検討する。まずは、「浜田市林業活性化事業補助金」のメニューの周知を今後も行っていき、里山の再生に努める。

質問 秋田県釈迦内小学校の五十嵐校長先生が雲



▲秋田県釈迦内(しゃかない)小学校の児童達

雀丘小学校の授業に参加されたときの教育委員会の感想を問う。

答 釈迦内小学校で取組んでいる「ひまわりプロジェクト」を実際に雲雀丘小学校でも「やってみよう」という意見が出るなど、この授業の中には郷土を愛するふるさと教育、活動の目的を見据えたキャリア教育、感謝の心を見つめる道徳教育など様々な視点が盛り込まれ、心に響く大変有意義な内容であった。

浜田医療センターは 浜田市民病院だ！



笹田 卓 議員

答 そのような認識で

協力をしていく

質問 浜田医療センター

は島根県西部の中核病院だが、医師、看護師不足はもろろのこと、市民はリハビリ、人工透析が医療センターで行えない時は、遠くの病院まで行ったりしていることも伺った。今後、どのように発展していくのか先が見えない。浜田市が浜田医療センターを市民病院として考え、どの様に進んで行けば、安心した医療が受けられるようになるのか問う。

答弁 県外から来られている看護師さんのご努力も十分に感じている。また、院長、副院長をはじめ事務部長の方々も、浜田市外の出身だが、本気になって浜田の医療のことを考えてくれている。医療センターについては、回復期や慢性期の医



▲浜田医療センター

療を求める声もある。糖尿病患者は、市内では長期間、受けいれてもらえないところがない。回復期のリハビリについても、退院しなければいけないけど受け皿がない。しかし、医療センターは、救命救急センターであり、この地域の急性期病院である。これからは、保健、医療、介護、福祉、そういう関係づくりを進めなければならぬと考えている。

その他の質問

○水産業振興について

教育委員会部局を 三隅支所への移行は？



田畑 敬一 議員

答 本庁と離れ

事務効率が後退する

質問 定員適正化計画に

おける業務の一元化と支所体制の3部門化への移行を27年度とし、教育委員会を三隅支所へ移行の質問をした。メリット・デメリットを含めて検討するとの答弁であったが、検討結果を聞く。

答弁 教育委員会本庁勤務者は約40名おり、三隅支所が活気づき経済効果はあると思う。しかし本庁から離れ、事務効率が大きく後退することが予想され、三隅支所に移転は、適当ではないと考える。

質問 総合振興計画「後期基本計画・平成23年、平成27年」の進捗状況を含めた検証を聞く。

答弁 後期基本計画は69項目の数値目標を掲げており、23年度末時点での進捗状況は、目標を達成している項目が14項目、

進展している項目は37項目、変化のない項目が5項目、後退している項目は13項目であり、この項目は、担当部署において、数値目標管理に努める。

質問 公民館職員の処遇の改善については、他市の状況を勘案し検討することのであったが検討結果はどうか。

答弁 公民館職員の業務が一律でないことや厳しい財政状況を踏まえ、現段階での処遇改善は難しいと考える。



▲浜田市役所三隅支所

浜田市の鉄の歴史 文化の掘起しを



三浦 保法 議員

答 調査研究成果を

地域学習資料に活用

質問 自分たちが住んでいる地域の鉄の歴史を後世に伝えたいと願われた地元有志が、公民館生涯学習の一環として調査結果を「小原鉱山をたずねる」という資料にまとめられた。その後、先駆者である地元の熱意に賛同された研究者が現れ、調査を始められその成果を島根県地理学会で発表された。これを地域学習資料として活用すべきであるが、市の所見を問う。

答弁 昭和18年から25年までの7年間、鉄鉱石の採掘が行われた井野鉱山について、平成15年以降、まちづくり推進委員会・I・NO（井野）の皆さんや専門研究者による長期にわたる努力により、従業員やその家族を含め2千人もの人々が、全国で13%を占める鉄鉱石生



▲カンナ流しが行われた美しい室谷棚田

産を行っていたことが明らかになり、井野地区のみでなく、浜田の歴史にとっても重要であることが示された。まちづくり推進委員会では、この成果を井野地区のみなさんに配布し、誇るべき歴史として守り伝える取組をされている。市としても調査・研究成果を地域学習資料として活用していただけるよう、関係者の同意を得て、市のホームページや広報紙などに掲載していきたい。

新図書館を核とした まちづくりをすべきだ



布施 賢司 議員

答 積極的に、市民との参加型の図書館を目指す

(仮称) 自治基本条例の 制定は



新田 勝己 議員

答 気運の醸成に努めている

職員削減のなか 民間活用でサービス向上を



佐々木豊治 議員

答 民間活用による業務対応は必要

質問 新図書館、開館に合わせた大分県豊後高田市の視察はどんな目的か。

答 図書館システム関連機器が本市も導入するものと同一であるため、来館者に対する職員の対応、市民ボランティアの活動を重視し、視察した。

質問 浜田市立中央図書館と、愛称の使い分けはどうするのか。

答 正式名と愛称は分けることなく、親しみをもっていただけるように、今後創刊する印刷分は、積極的に両方使っていく。

質問 ロゴやキャラクターの採用と、石州半紙を使った「しおり」などをつくる考えはないか。

答 今後、考えていく。

質問 「しおり」は高価でつくりたくないが、書架の創作物で採用していきたい。

質問 市立図書館の一番のメリットは郷土・民族資料の充実と思うがどうか。

答 後世に伝えることは大変重視しており、資料の提供をより広く市民のみなさんに呼びかける。

質問 ボランティア活動の支援はどうするのか。

答 活動が継続的かつ安定的になるように、担当職員を配置し、連携や協力体制の構築に向け交流促進を図り、市民との参加型の図書館を目指す。



▲8月10日オープン予定
愛称ラブック浜田

質問 自治基本条例に連動するまちづくりの展開の基本方針に、市民と行政の協働によるまちづくりが掲げられている。行政と市民の役割が不明であるが考え方を問う。

答 市民主体による「協働のまちづくり」の推進に当たり、行政と市民の役割を明確にし市政運営を進めている。現在、「地区まちづくり推進委員会・総合交付金」の設置促進や地域支援に努めているが取組にバラツキが出ている。「浜田市まちづくりフォーラム」などにより気運の醸成に努めている。

質問 ブータン王国と浜田市の友好交流に関する協定書が3月に市長を団長とする訪問団において調印が行われる。ブータンとの交流は、旧三隅

町において昭和61年から始まった石州和紙の研修生3名の受け入れから約20年続いたものである。この間の石州和紙組合、行政、市民が一体となつての成果と思うが今後の取組について問う。



▲和紙が繋いだブータン交流

答 「友好交流協定書」を再締結した後、手すき和紙を通じた伝統工芸、教育文化、産業経済分野で、これまでの交流を基調として深めていく。

その他の質問 ○農業の展望について

町において昭和61年から始まった石州和紙の研修生3名の受け入れから約20年続いたものである。この間の石州和紙組合、行政、市民が一体となつての成果と思うが今後の取組について問う。

質問 行政運営が厳しさを増すなか、公共サービスを行政が全て担う時代は終わり、民間と行政が協働して「新しい公共」を創ることが求められている。市の全ての事業を公表し、民間から委託・民営化の提案を募る「提案型公共サービス民営化制度」の手法を、職員が削減されるなか、コスト削減とサービス向上のため本市としても研究していくべきではないか問う。

答 我孫子市などの先進自治体の取組を注視していく必要があると考えており、民間事業者の創意工夫が活かせるよう、研究していく。

質問 公有財産管理や有効活用の促進、情報収集や分析など、有効な資産運営手法である「ファシリティマネジメント」の

取組を検討する専門部署を創設すべきではないか問う。

答 単に部署を創設することは難しいが、今後の機構改革に合わせ、検討していく。

質問 人工芝化により、利用客が大きく増加したサンビレッジ浜田を、さらに施設整備をして、新たな武器にすべきでは。

答 県内外に向けての広報活動を推進し、施設整備の充実についても、総合的に検討していく。



▲サンビレッジ浜田

旭町に騒音測定器や アドバルーンを設置を

西村 健 議員



答 面白い提案
検討したい

質問 米軍機による低空飛行の中止を求める今後の取組について問う。

答弁 市独自の取組を継続するとともに、新たに設立した5首長で構成する「米軍機騒音等対策協議会」や、その幹事会で検討し、連名による要請文の送付や要請行動等の取組を進めていきたい。また、改善が図られるまでの間、騒音地域の施設に対する防音対策の予算措置を講じるよう国に求めていく。

質問 1月24日にあさひ子ども園を訪問した際、米軍機の超低空飛行に遭遇した。子ども園あるいは島根あさひ社会復帰促進センターに騒音測定器や、飛行高度抑制のためのアドバルーンを設置する考えはないか。

答弁 市の施設ではない



▲1月24日(木)あさひ子ども園上空で腹面を上にして飛行するFA-18ホーネット

が、騒音測定器については、積極的に受け止めたかと考えている。アドバルーンについては、事故の誘発などが想定されるため、実現性や有効性について慎重に検討しなければならないが、非常に面白い提案である。米軍機がこちらにこないための虫除けということであれば、国や米軍を動かすことになると思う。

議会報告会を開催します

ー議員が3月定例会の審査経過などを報告ー

浜田市議会では、今年も議会報告会を開催いたします。議員27名全員が4班に分かれて下表のとおり、10の地区に分けて、各地区にある公民館などを会場として開催する予定です。

議会報告会のなかでは、市民の皆様へ、先に行われた3月市議会定例会の議案審査の状況等を中心にお知らせします。

市民の皆様から、ご意見などいただきながら、今後の議会活動の取組に活かしていきたいと考えています。

市民の皆様はどの会場に行かれても結構ですので、ご来場を議員一同、心よりお待ちしております。

議会報告会の開催日時と会場

開催日	開催時間	地区（地域）	開催会場
5/8(水)	19:00～20:30	美川	美川公民館
	19:00～20:30	弥栄	弥栄会館
5/9(木)	19:00～20:30	国府	国府公民館
	19:00～20:30	石見	石見公民館
5/10(金)	19:00～20:30	浜田	浜田公民館
	19:00～20:30	旭	旭センター
5/13(月)	19:00～20:30	長浜	長浜公民館
	19:00～20:30	三隅	三隅公民館
5/14(火)	19:00～20:30	周布・大麻	周布公民館
	19:00～20:30	金城	みどり会館



▲昨年、初めて開催した議会報告会

あとかき

平成24年度をもって、浜田市の小学校が分校を含め5校閉校しました。どの学校にとっても開校からの長い歴史の中で、学び舎として通った一人ひとりの心の中に、数え切れない思い出が詰まっていると思います。

まさに学校敷地内は、地域にとつて「思い出の宝箱」。どんなに歳をとってもここに来ると童心の頃を思い出し、原点の記憶が甦ってくるような気がします。これから歴史という時間の流れの縦糸に、学び舎から巣立った多くの人が一緒にどんな地域模様を創るのでしょうか。（記 西田清久）

【編集委員】

田畑 敬二 委員長
岡本 正友 副委員長
笹田 卓 委員
布施 賢司 委員
佐々木 豊治 委員
西田 清久 委員
三浦 保法 委員
山田 義喜 委員
牛尾 昭 委員
美浦 美樹 委員

〔議長なんでもメール〕

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。必ず議長自ら回答させていただきます。（住所・氏名を明記の上、送信ください）
E-mail アドレス：chairman@city.hamada.shimane.jp